

案件

福祉バスのあり方検討に係る現状と今後の方向性について

健康福祉政策課
障害支援課

1. 政策等の背景・目的及び効果

本市では、「枚方市総合福祉センター」への送迎バスを2台運行しています。このうち1台を送迎利用のほか、福祉バスとして、障害者等の社会参加の促進を図ることを目的に、障害者団体等からの利用申請に基づき、金曜日と日曜日に限り同バス※を貸し切り利用することによる遠方輸送を無料で実施してきました。

このたび、送迎バスと福祉バスの運行を委託している京阪バス株式会社から、運転士不足のため福祉バスの運行については、令和8年度（2026年度）をもって受託を終了するとの申し出を受け、令和9年度（2027年度）以降の福祉バスの運用のあり方の整理を行うものです。

※ 令和8年度（2026年度）のみ、送迎バスとは別車両で同内容の事業を実施。

2. 内容

(1) 福祉バスの利用状況等

① 利用の概要

福祉バスについては、障害者等の社会参加の促進を図ることを目的とし、対象団体が自主活動をする場合等に利用できるもので、令和5年度（2023年度）に現在のバス車両の規格に変更となつてからは、「日帰り」かつ「往復の走行距離がおおむね150キロメートル以内」などの基準により、障害団体等からの申請を受け運行しています。車いすの固定については1台分が可能で、2台以上の車いす固定が必要な場合は代替車両を提供する対応を行っています。

また、金曜日と日曜日の週2回が利用可能日となっているため、優先的に障害者団体の利用を受け付け、障害者団体の利用がない日については、老人クラブや福祉団体等の利用を可能としています。

▼利用団体一覧

受付窓口	所管課	団体名	申込日
障害支援課	障害支援課	市から補助金又は負担金等を受けていた作業所等の障害者団体	4か月前
社会福祉協議会	健康福祉政策課	枚方市福祉団体連絡会	4か月前
		枚方市福祉団体連絡会の加盟団体	3か月前
		校区福祉委員会	2カ月前
ラポール		ラポールひらかた福祉ルーム利用登録団体のうち障害者団体	3か月前
		ラポールひらかた福祉ルーム利用登録団体のうちボランティア団体	2か月前
健康福祉政策課		市から補助金を受けている老人クラブ	2か月前

② 利用実績

年度	利用件数	延べ利用人数
令和5年度（2023年度）	40回	892人
令和6年度（2024年度）	43回	980人
令和7年度（2025年度）	40回	890人

（2）今後の方向性の検討

現在の手法による福祉バスの運行については、令和8年度（2026年度）をもって終了するため、令和9年度（2027年度）以降も、引き続き、障害者や高齢者等の社会参加の促進を図り、生きがいつくりの創出を維持できるよう、代替となる移動手段の検討を進めてまいります。

なお、代替手段の検討にあたっては、京阪バス以外での遠方輸送サービスの運行委託の可能性や、その他手法による遠方輸送バスの利用機会の提供に向けた検討を行います。

また、送迎バスにつきましては、現時点におきましては、京阪バスから廃止の申し出はありませんが、運転手不足等の状況も踏まえ、必要に応じ、協議・検討を行います。

3. 実施時期等（予定）

- 令和8年（2026年）6月 市民福祉委員協議会へ報告
令和9年（2027年）2月 市民福祉委員協議会へ代替事業形態（福祉バス）について報告
令和9年（2027年）4月 代替事業形態（福祉バス）での運用開始

4. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画

基本目標 2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち

施策目標 9. 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち

10. 障害者が自立し、社会参加ができるまち



5. 関係法令・条例等

道路交通法

国土交通省令道路運送車両の保安基準

6. 事業費・財源及びコスト

令和8年度(2026年度)予算

《事業費》 福祉バス運行委託料 8,437千円

送迎バス運行委託料 37,356千円

《財 源》 一般財源